

## 1 趣 旨

教職大学院を中心とした大学と教育委員会が連携し、指標をふまえた教職生活全体を通じた教員の能力形成が求められる中、教職大学院や教育委員会関係者、現職教員、地域等関係者が一堂に会し、「カフェ形式」で語りあうことをとおして、今後の持続可能な社会の創り手の育成に貢献できる教員として求められる資質能力の向上や教育実践の充実深化を図る。

## 2 主 催

山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻（教職大学院）  
独立行政法人教職員支援機構、同 山口大学センター

## 3 共 催

山口県教育委員会

## 4 開催日時

令和5年8月26日（土） 10:00～15:30

## 5 開催場所

公立学校共済組合山口宿泊所「セントコア山口」（2階 サファイアホール）  
〒753-0056 山口市湯田温泉 3-2-7 Tel:083-922-0811

## 6 参加者

現職教員、教職大学院生、教育委員会関係者、地域住民、大学関係者 等

## 7 研修内容等

### (1) 開会行事 (10:00～10:10)

あいさつ 山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻 専攻長 佐々木 司  
事業紹介、諸連絡

### (2) 講演 (10:10～12:00)

演題 「この国の価値を次世代につなぐ ～起業家精神をもって生きること～」  
講師 株式会社和える (aeru) 代表取締役 矢島里佳 さん

### (3) カフェ（班別ちゃぶ台ワーク） (13:00～15:10)

テーマ 「矢島里佳さんの生き方生き様を自身の変容につなぐ」  
カフェ 「一人の人間として学ぶ、一人の教員として学ぶ」

### (4) 閉会行事 (15:10～15:30)

講評 山口県教育庁教職員課 管理主事 丸山茂生  
挨拶 教職員支援機構山口大学センター センター長 和泉研二

## 8 その他

(1) 本研修事業は、独立行政法人教職員支援機構「令和5年度 NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業」受託経費により運営される。

(2) 今後の「新型コロナウイルス」ウィルス感染動向や開催地の状況等に応じて、開催形態の変更（オンライン研修等）、延期や中止の場合がある。



# 82人それぞれの「あなた」が目指すところは? さあ「Enlearn」しよう! 今年も「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced Course」スタート!



NITS 山口大学センター・山口大学教職大学院・山口県教育委員会が一体となって、教職キャリアを貫く職能開発 + 教職各期のステージリーダー養成 + 地域(西日本広域)の教職員研修の活性化を目指すこのプログラムもなんと10年目を迎えました。「これが正しかった!」です。ハイ!

本年度は、現職教員51人、教職大学院学部卒院生10人、県教委と周南公立大と山口大の教職員21人の82人が会員登録し、年間10回の連続・積み上げ式講座がスタートしました。

第1回研修会は6月17日、山口大学に現職教員25人、院生7人、指導者・スタッフ等18人の50人が集い、「ちゃぶ台」らしい「豊かで温かいCohort研修」を行いました。概要を報告します。

## 開講行事 + アイスブレイク「自己紹介」



On behalf of the organizers, Professor Ryo Takaoka of the NITS Yamaguchi University Center gave the opening remarks in fluent English. In his speech, he emphasized the importance of Enlearn and expressed his passion for the participants.

その後、参加者全員で「(前の人の)名前の最後の文字(読み仮名)から始める自己紹介」を行いました。まあ、みんな上手い!面白い!楽しかった!

## 講義「山口県教育の現状、課題と充実期教員への期待」

山口県教育庁教育政策課教育企画班 班長 今田隆之 さん

各ステージのリーダー養成だから...先生たちも学校の教育や自分たちの実践を国・県教育の動向や施策と結びつけて考えられなきゃ! 教育振興基本計画も知ってなきゃ! 第1回はこのテーマが必須です。県の教育施策やプロジェクトをご担当の今田班長さん。次期教育振興基本計画について、国レベルの動向もふまえて詳しく解説して下さいました。また、山口県教育の現状や課題から県施策、事業や予算等についてもご講義頂きました。柔らかな語り口、温かい笑顔のなかに、ポンチ絵を見るような見事に整理された明快なお話。「改めて校内研修で読みあおう!」と思った参加者も多いはず。今田さん、ありがとうございました。

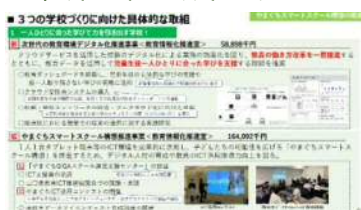


## 受講者のコメントから

今田班長さんのご講義を楽しみに聞かせていただいた。今田班長さんのお話を伺える時間は、行政の施策の背景やどのように現場に届くのかという経緯を知ることができる、大変貴重な機会である。現場には文字や数値といった無機質な状態で届くことの多い施策だが、今田班長さんのお話を伺うと、関わった方々の「誰一人取り残さない」という熱い思いや願いが込められていることが伝わってきて、「やらなければ」というより「ぜひやりたい」という気持ちにしていだける。山口県で一番予算をいただいている我々教員には、誰一人取り残さず、山口県の子どものために教育を行うという気概が必要だということを感じることができた。(小学校)

■ 施策の展開	
教育目標: 未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成	県教育庁教育政策課
1. 福祉的学び・豊か中心・福祉的な生活環境の醸成	福祉的学び・豊か中心・福祉的な生活環境の醸成
2. 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進	新たな時代を創造する人材を育む教育の推進
3. 生涯学習・地域・福祉・協働・学習の推進	生涯学習・地域・福祉・協働・学習の推進
4. 学校・家庭・地域・協働・学習の推進	学校・家庭・地域・協働・学習の推進
5. 生涯学習・地域・福祉・協働・学習の推進	生涯学習・地域・福祉・協働・学習の推進

最新の県の政策を教えていただき、全体像を知ることができた。また、次期教育振興基本計画における方向



性の中に「ウェルビーイング」があり、とても興味深かった。現在、本校で進めている研究は「児童生徒の QOL 向上」を目標に掲げているが、ウェルビーイングは持続的な幸福や周囲や他者に幸せが広がっていくとあり、QOL 向上よりもっと広い意味であると思った。ウェルビーイングの考え方がもっと広まって欲しいし、自分もそのインフルエンサーになりたい。(特別支援学校)



年度当初に県の施策の方向性、大枠、ビジョンを理解することは意義深い。教育行政の仕事をするようになったが、県と市町のベクトルを合致させたうえで学校現場に説明していかないと信頼関係は構築できない。教育行政に携わる者として、県施策に対する深い理解が求められる。ちゃぶ台に参加して3年目を迎えるが、昨年度まで教諭としてこうした研修を受けることができている、そのことが今の職務に大いに役立っている。(教委)

## ちゃぶ台協議(ワーク)「研修仲間(Cohort)相互のつながりをつくろう！」

年度最初の「研修びらき」。校種や経験年数や地域を超えて、志でつながる仲間(Cohort)同士が、和気藹々、楽しく和やかにつながりました。各自が用意してきた「宿題」を元にした自己・学校紹介は、「まだまだ話したりない!」「もっと時間を下さい!」が飛び交う1時間。楽しかったですね。笑いましたね。またやりましょう!

## 受講者のコメントから

異校種、他地域、異世代の学校教育関係者の方とたわいもない内容から教育に関する事について、ざっくばらんに話ることができてよかったです。また研修会でこのような発言をすることは不謹慎かもしれませんが、楽しかったです。最近は、学校現場において「仕事」の話はしても「教育論」を交わす文化が減っています。多忙感、仕事の全てを事務的、作業的に捉える管理職や教職員の増加等、様々なことが理由に挙げられ、残念なことです。ちゃぶ台のようなことが各学校で自然な形で行われるとよいと思いました。また思うだけでなくやっていきたいです。(中学校)



様々な校種や年齢の先生方と話をすることができ、刺激になった。特に教員同士の人間関係や指導の方向性の違いで悩んでいる先生は自分以外にもいることを知り、心強かった。校内だけでなく、ちゃぶ台でもつながりができることで、視野が広がり、人間関係も広く繋がることのできる。教員をしていくうえで一期一会のつながりを大切にしたいと思った。(特別支援学校)

教職大学院に入学し様々な人(実践Cの先輩、経営Cの先生方、大学の先生方)とのつながりができ、刺激とともに様々な知見も深まっている。今回のちゃぶ台の協議では、いつもの先生方に加え、校種も教科も異なる数多くの先生とお話することができ、刺激的な時間であった。実践コースが自分一人だったこともあり、自分のお話を聞いてもらう時間が長かった。他の現職の先生方のお話をもっと聞きたい。(ストラス院生)



## 講演「困難や危機を乗り越えた学校がやったこと ~春日中学校のその時~」

追手門学院大学教務課教職支援室 専任指導者  
前 奈良県奈良市立春日中学校 校長 坂本静泰 さん

奈良市立春日中学校で、「いちばん古い奈良の、いちばん古い中学校で、いちばん新しい教育を!」をスローガンに、学力向上、ICT活用による指導改善、組織改編やPTA改革等の「学校改革」を先導してこられた坂本先生。現在は、大学教員として全国各地やメディアでご活躍中です。今回も豊富な資料をご用意下さり、ご講演の内容に加えて、「勢い、テンポ、ユーモアと迫力」満載の90分でした。坂本先生、ありがとうございました。



**春日中学校の『その時』① ~PTA組織改編、関係性の向上~**

【保護者と子どもたちとのために「PTA組織改編」】  
2019年5月運営委員会 校長「学校の事をもっと多くの保護者に知ってもらいたい」  
全県一斉でも多くの保護者を巻き、子どもたちのために学校と協働したい  
➢ 運営委員会委員決裁の保護者は無料の形式、教員が学校委員決裁の義務  
➢ 協議委員、協議委員などの委員制を導入、必要に応じてセンター制で行事等に対応  
➢ 毎月開催の運営委員会「学校の疑問」を攻め方にし、解消➡その内容を「運営委員会」が取りまとめ、校長に報告、PTA独自のPTAに報告  
➢ 体育大会の保護者向けの観覧の注意事項を学校と協議して作成  
➢ 運営委員会ですべての委員がPTAの委員として参加し、PTAの委員がPTAの委員として参加

【教職員の関係性の向上】  
各学年の両教員の他の配置を正面に向けてつづける学校に配置  
協力が得られているのか、どのような経緯で向上しているのかを見える化  
自由や、卒業の作業まで一テンポが自然発生的にスタート  
新型コロナウイルス感染症対策の一環としての模造

**春日中学校の『その時』② ~学力の向上、その2~**

【授業の先生方の向上】  
①学びがわかる授業、誰のいかに学びがわかる授業の方法を学ぶ  
②先生方のよりよい授業、自分の授業の振り返り(授業一歩一歩の振り返り)  
③よりよい授業、見直しをもつための振り返り(授業一歩一歩の振り返り)  
④ICTで授業の録音や録画、デジタル教材の活用、ICT教材の活用(Zoom、LMS、LMS、LMS、LMS)  
授業の録音や録画、デジタル教材の活用、ICT教材の活用(Zoom、LMS、LMS、LMS、LMS)  
⑤2年未満の正教員は、授業と教員を連携し、学びを深める

【授業の先生方の向上へのチャレンジ】  
定期考査より前、教員が授業の録音や録画、デジタル教材の活用、ICT教材の活用(Zoom、LMS、LMS、LMS、LMS)  
定期考査より前、教員が授業の録音や録画、デジタル教材の活用、ICT教材の活用(Zoom、LMS、LMS、LMS、LMS)  
保護者は「500名以上の保護者を巻き、授業と教員を連携し、学びを深める」

➢ 授業と教員を連携し、学びを深める  
➢ 授業と教員を連携し、学びを深める  
➢ 授業と教員を連携し、学びを深める  
➢ 授業と教員を連携し、学びを深める

**春日中学校の『その時』③ ~PTA組織改編、関係性の向上、学校のデジタル化、学力の向上、働き方改革~**

【PTA組織】  
①PTA組織: 自らの保護者組織として「保護者の権利と義務の向上」  
「学校運営の高度化と子どもたちの成長のために」学校の組織図となるのか  
【保護者協議の向上】  
協会の運営委員会「学校の疑問」を攻め方にし、解消➡その内容を「運営委員会」が取りまとめ、校長に報告、PTA独自のPTAに報告  
➢ 毎月開催の運営委員会「学校の疑問」を攻め方にし、解消➡その内容を「運営委員会」が取りまとめ、校長に報告、PTA独自のPTAに報告  
➢ 毎月開催の運営委員会「学校の疑問」を攻め方にし、解消➡その内容を「運営委員会」が取りまとめ、校長に報告、PTA独自のPTAに報告

②教員の仕事  
➢ 教員の仕事  
➢ 教員の仕事  
➢ 教員の仕事

➢ 教員の仕事  
➢ 教員の仕事  
➢ 教員の仕事  
➢ 教員の仕事

## 受講者のコメントから

学校という場は「子どもたちの未来に責任を持つ教育を展開する場である」「ただ答えなき時代を生き抜くだけでなく、ともに生き合うこと大切にしていけるべきである」という言葉が心に残りました。現場は日々変化し、学習指導、デジタル化、保護者対応等、困難な教育課題への対応が迫られています。その中で、自立した教員として課題解決の為に学び続けることができるか、常に問い、指導を実践し、その結果を検証しながら自分自身をアップデートできるかどうか、「教師」としての使命を果たしていくことが大切であると、お話を聞いて感じました。変化する時代の中で、自分自身も変化、アップデートしながら職務に励みたいと思います。(小学校)



一番印象に残ったことは、「大人が奮闘している姿を見せる」ということである。春日中学校では、先生方が手を動かし、足を動かしながらコロナ期間を過ごされていたことを知った。そして、その姿を見ている子どもたちだからこそ、ピアノのある部屋をデザインしたり、タブレットを活用した体育の授業では、自然と子どもたちの隊形が変わったりするのだと考える。自分自身が小学生や中学生の時にも、そのような先生が何人かいたが、その先生たちのことが好きだったことを思い出した。私も子どもたちに奮闘している姿を見せ、子どもたちと一緒に奮闘していきたいと強く思う。また、「当たり前」をなくしていくことも学校現場には必要なのかなと感じた。簡単なことではないが、変えていくために先生たちがたくさん話し合っていて、子どもたちの意見を聞いて、保護者とも話し合っていて決めていくことで、学校がより1つになっていくのではないかと考える。どちらにしても、子どもたちのことを1番に考えられる教員でありたい。(スタマス院生)

お話にどっぷりと入り込み、あっという間に時間が経ちました。校長先生としての実践を具体例にお話が進みましたが、背景には、生徒への深い教育的愛情と長い教職生活での多様な経験を窺い知ることができました。教職大学院で学んでいる内容を、これからの自分自身のキャリアで活用していくための一つの指針を示していただいたように感じます。特に、印象的であったことは、多様なたくさんの実践の一つひとつに丁寧に取り組んでいることでした。生徒や教職員、保護者、地域住民との豊かなコミュニケーションによって、成果や課題、改善点を的確に把握し、よりよい実践につなげていることが分かりました。「一人ひとりや一つひとつと、大切にに関わり続け、成長や学びを生み出していく」という信念が、教職生活の軸として明確にもたれていたように感じました。(中学校)



**閉会行事** 最後は、佐々木 司専攻長(教職大学院)の「まとめと挨拶」で終了しました。「unlearn」「のりしろ」「拡散」等のキーワード溢れる温かいスピーチでした。皆さん、また新たな1年、「ちゃぶ台」に集い、交わり、楽しみましょう。



## 連絡

- 欠席だった皆さんに「研修計画」を提供します。予定に入れてください。
- 「出欠連絡」は、登録者全員にお願いしています。ご理解ご協力をお願いします。

Stay positive.  
We'll get through this together!  
We are the "Chabudai".

## プログラムの実施予定

- 第2回 8月26日(土) 10:00~15:30 セントコア山口  
「この国の強みを次世代につなぐ～起業家精神をもって生きること～」株式会社和える(aeru) 代表取締役 矢島理佳
- 第3回 10月14日(土) 10:00~12:00 山口大学  
「フィンランドから眺めた令和の日本型学校教育」信州大学大学院教育学研究科 教授 伏木久始
- 第4回 10月14日(土) 13:00~17:30 山口大学  
「私の教員人生から語る～教職の魅力、喜びややりがい～」Advanced course現職教員会員
- 第5回 11月3日(祝) 9:30~12:30 周南市徳山動物園  
「フィールドワーク～動物たちの生態と人との距離～」周南市徳山動物園 園長補佐(獣医師) 木原一郎
- 第6回 11月3日(祝) 13:30~17:30 周南市徳山駅前図書館(JR徳山駅ビル)  
「アスリートとして生きること～不可能とは可能性のこと～」日立ソリューションズ「チームAURORA」スキ一部 新田佳浩
- 第7回 12月23日(土) 10:00~12:00 セントコア山口  
「学校の想い、親の想い、そして子どもたちの想い(保護者との座談会)」山口県PTA連合会役員
- 第8回 12月23日(土) 13:30~17:00 セントコア山口  
「考える、動く、自由になる～これからの学びや社会の姿～」横浜創英中学・高等学校 校長 工藤勇一
- 第9回 2月10日(土) 13:00~17:00 山口大学  
「会員による実践・研究成果発表・交流会」Advanced course現職教員会員等
- 第10回 3月16日(土) 13:00~17:30 山口大学  
「インクルーシブ教育、特別支援教育の動向」新潟大学教育研究院人文社会科学系教育学系列 教授 長澤正樹



**コーホート (cohort)**

同一の性質を有する同年齢集団

→ 教職という立場や志でつながる同年代の仲間たち



山口県教員育成指標【教諭】

■どのステージにおいても変わらず必要とされる「教職に必要な素養に関すること」

◎豊かな人間性 ◎使命感 ◎責任感 ◎教育的愛情 ◎人権意識 ◎倫理観 ◎社会性 等

大項目	中項目	小項目	ステージ0 【理解】	ステージ1 【実践】	ステージ2 【協働】	ステージ3 【リーダーシップ】
教職に必要な素養に関する事項	コミュニケーション	1	円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築する必要性を認識している。	他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的コミュニケーションをとっている。	他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションをとっている。	他の教職員の役割に寄りわり、適切な動きを行っている。
		2	説明や指示を正確し、チームで対応する必要性を認識している。	説明や指示を正確し、チームで対応する必要性を認識している。	互いの強みや弱みを生かして、支え合える関係をつくることに、積極的に関わり、教職員を積極的に支援している。	人材育成の重要性を踏まえ、教職員の職務に応じた継続的な人材育成の推進づくりに貢献している。
社会性	タイムマネジメント	3	児童生徒と向き合う時間を確保するために、効率的な業務遂行方法を工夫している。	限られた時間の中で、優先順位を決め、計画的に業務を行っている。	他の教職員と協力し、多面的・多角的な学校の指導・運営の場面で、主体的に関与し、具体的な業務を行っている。	所属可能な学校の指導・運営業務の推進に積極的に参加している。
		4	教育現場の役割や価値、意義について理解している。	学校教育の目的の達成に向けて、教育現場に基づいて児童生徒の成長に寄り添っている。	自己や他者の特色を生かした教育現場の推進に邁進し、積極的に貢献している。	自己や他者の特色を生かした教育現場の推進に積極的に参加している。
職業意識	キャリアアップ	5	学校運営に際して、協力的な対応の必要性を認識している。	学校運営に際して、自分の役割や責任を認識し、学校教育の推進に努めている。	自己の状況や強みへの対応について積極的に意見を述べ、他者から学校教育の推進に向けて積極的に参加している。	高い能力や専門性を発揮し、様々な役割を担って学校運営に積極的に参加している。
		6	学習指導要領に示された教科等の目標及び内容並びに児童生徒の発達段階に応じた「指導と評価の計画」の重要性を理解している。	教科等に関する専門的な知識・技術を駆使し、児童生徒の発達段階に応じた「指導と評価の計画」を作成している。	学校の重点課題等を踏まえ、創意工夫を凝らした「指導と評価の計画」を作成している。	「指導と評価の計画」の作成に際して、他の教職員に適切な助言を行っている。
評価	授業改善	7	基本的な指導方法や指導等の特性に応じた指導等を行っている。	指導に際して指導形態等を調整し、児童生徒の反応を見ながら適切な指導を行っている。	指導方法や指導形態等を工夫し、児童生徒の反応を生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」を促す指導を行っている。	指導方法や指導形態等についての、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
		8	学習評価の基本的な考え方を理解している。	学習評価を通して児童生徒の学習状況を把握し、児童生徒の学力の向上を図る指導を心がけている。	他の教職員と連携し、児童生徒の学習状況を把握し、その改善に努めている。	学習評価の進め方について、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
研究開発	協働的な学習活動の展開	9	授業改善の視点としての「主体的・対話的で深い学び」の重要性を理解している。	日常的に授業を企画し、他の教職員や他校の方々の指導研究や授業研究を積極的に取り入れ、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践改善に努めている。	他校の教職員等と対話した授業研究を積極的に取り入れ、授業改善に努めている。	児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めている。
		10	児童生徒の発達段階に応じた「指導と評価の計画」の重要性を理解している。	児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価の計画を策定し、児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価を行っている。	児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価の計画を策定し、児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価を行っている。	児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価の計画を策定し、児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価を行っている。
生涯学習	生涯学習	11	児童生徒の発達段階に応じた「指導と評価の計画」の重要性を理解している。	児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価の計画を策定し、児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価を行っている。	児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価の計画を策定し、児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価を行っている。	児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価の計画を策定し、児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた指導や評価を行っている。
		12	教育現場に関する基本的な知識を身に付けている。	教育現場に関する基本的な知識を身に付けている。	教育現場に関する基本的な知識を身に付けている。	教育現場に関する基本的な知識を身に付けている。

- 第1回** 令和5年 6月17日(土) 13:00~17:30 **山口大学**  
「山口県教育の現状と課題 ~山口県教育振興基本計画と教育諸施策~」  
山口県教育庁教育政策課教育企画班 班長 今田隆之  
「困難や危機を乗り越えた学校がやったこと ~春日中学校のその時~」  
追手門学院大学 教務課教職支援室 専任指導者  
前 奈良県奈良市立春日中学校 校長 坂本静泰
- 第2回** 令和5年 8月26日(土) 10:00~15:30 **セントコア山口**  
「この国の強みを次世代につなぐ ~起業家精神をもって生きること~」  
世界経済フォーラム(ダボス会議) ヤング・グローバル・シェイパーズ  
株式会社和える(aeru) 代表取締役 矢島理佳  
「私の学校、私の地域の未来予想図3(Café)」  
山口大学「ちゃぶ台」スタッフ(教職員チーム)
- 第3回** 令和5年 10月14日(土) 10:00~12:00 **山口大学**  
「フィンランドから眺めた令和の日本型学校教育」  
信州大学大学院教育学研究科 教授 伏木久始



## 2023年度の研修計画 (予定:演題は全て仮題)

- 第4回** 令和5年 10月14日 (土) 13:00~17:30 **山口大学**  
「私の教員人生から語る ~教職の魅力、喜びややりがい~」  
ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course 会員、スタッフ
- 第5回** 令和5年 11月 3日 (祝) 9:30~12:00 **周南市徳山動物園**  
「フィールドワーク ~動物たちの生態と人との距離~」  
周南市徳山動物園 園長補佐(獣医師) 木原一郎
- 第6回** 令和5年 11月 3日 (祝) 13:30~17:00  
**周南市徳山駅前図書館(JR徳山駅ビル)**  
「アスリートとして生きること ~不可能とは可能性のこと~」  
平昌パラリンピック(CC、ミドルクラシカル)金メダリスト  
2022-2023年シーズン「ワールドカップ(年間総合)」3位  
日立ソリューションズ「チームAURORA」スキー部 新田佳浩
- 第7回** 令和5年 12月23日 (土) 10:00~12:30 **セントコア山口**  
「学校の想い、親の想い、そして子どもたちの想い(保護者との座談会)」  
山口県PTA連合会、山口県公立高等学校PTA連合会 役員

第8回 令和5年 12月23日(土) 13:30~17:00 セントコア山口

「考える、動く、自由になる ~これからの学びや社会の姿~」

教育再生実行会議 委員、前 千代田区立麴町中学校 校長

横浜創英中学・高等学校 校長 工藤勇一

「私自身の未来予想図4(Café)」

山口大学「ちゃぶ台」スタッフ(教職員チーム)

第9回 令和6年 2月10日(土) 13:30~17:30 山口大学

「会員による実践・研究成果発表・交流会」

特設 令和6年 3月16日(土) 9:30~12:00 山口大学

「1年間の研修を振り返って(リフレクション研修会)」

第10回 令和6年 3月16日(土) 13:00~17:30 山口大学

「インクルーシブ教育、特別支援教育の動向」

新潟大学教育研究院人文社会科学系教育学系列 教授 長澤正樹

